

【病 弱】

石狩管内

北海道手稲養護学校三角山分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として国立病院機構北海道医療センター（西館）への入院者を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒063-0005 札幌市西区山の手5条8丁目1番38号
- 問 合 せ 先 TEL 011-633-3020
FAX 011-633-3023
E-mail sankakuyama-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.sankakuyama.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「自らの可能性を生かし、心豊かに生きる人を育てる」

□ 概 要

本分校は二海郡八雲町で長い歴史を育んできた北海道八雲養護学校を前身とする学校です。独立行政法人国立病院機構八雲病院の札幌移転に伴い、令和2年8月から札幌市西区に校舎を移転し、「北海道手稲養護学校三角山分校」として新たにスタートすることとなりました。

高等部では、隣接する『独立行政法人国立病院機構北海道医療センター』に入院している神経筋疾患や重症心身障がいなどの生徒を対象に、高等学校と同様の学習から障がいの重い生徒に適した学習まで、一人一人の発達や障がいの状態にきめ細かく対応した教育を行っています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

「自分のもつ力や個性を発揮し、現在及び将来において、生き生きと充実した社会生活ができる生徒を育てる」

【 支援技術（AT）の積極的な導入 】

一人一人の障がいの状況に応じて、パソコンやタブレット等のICT機器、スイッチ、補助具等の支援技術（AT：アシスティブテクノロジー）を積極的に導入し、学習環境の整備に努めています。タブレットのアプリを活用した効果的な指導など、授業の工夫も行っていきます。

【 ICTを活用した遠隔授業の推進 】

web会議システムや分身ロボット、メタバースなどを活用し、外部との遠隔授業を行っています。遠隔での外部大会などへの参加や就労体験学習など、社会参加に繋がる学習を積極的に行っています。

【 地域・他校との交流学习及び共同学習の推進 】

対面や遠隔による地域事業所や同年代の他校の生徒との活動を通して、社会性や豊かな人間性を育てています。地域のカフェとは共同メニュー開発などに取り組んでいます。

【 車いす体育・車いすスポーツ等の推進 】

体育的活動に参加することによるチームプレーでの社会性の学びや、主体的な行動力の向上等の観点から、積極的に車いすでのスポーツを推進しています。

【 個に応じた進路指導 】

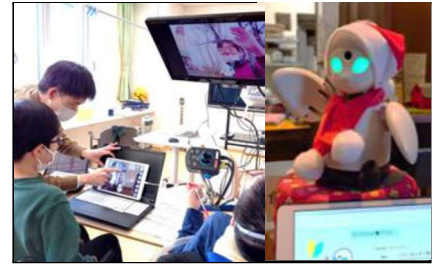
地域の関係機関や就労支援事業所と連携を図り、生徒一人一人の進路希望に応じた学習を進め、生徒の進路実現へ向けた環境づくりを行っています。



ICT機器等を活用した授業



iPad音楽アプリ（Garage-Band）を活用した音楽発表



分身ロボットOriHimeを活用した遠隔校外学習・接客実習



メタバース空間を活用した遠隔授業（さっぽろ雪まつり）



ロボットプログラミング選手権（R5全国準優勝 R6全国ベスト8）



車いすを使っての体育授業（ホッケー）

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動	数学Ⅰ	総合的な探究の時間	自立活動	生物基礎
2	生物基礎	美術Ⅰ	C英語Ⅰ	公共	現代の国語
3	言語文化	公共	数学Ⅰ	情報Ⅰ	C英語Ⅰ
4	数学Ⅰ	地理総合	言語文化	美術Ⅰ	情報Ⅰ
5	地理総合	LHR	保健 体育	C英語Ⅰ	総合的な探究の時間
6	現代の国語		保健 体育	保健	

【重複障がい学級】

	月	火	水	木	金
1	自立活動	外国語	総合的な探究の時間	自立活動	情報
2	情報	理科	社会	国語	職業・家庭
3	社会	国語	国語	音楽	道徳
4	音楽	美術	数学	外国語	理科
5	数学	LHR	保健体育	数学	総合的な探究の時間
6	職業・家庭		保健体育	美術	

* 登校時間 8:30（月～金）

* 下校時間 15:40（月・水・木）／14:40（火・金）

■教育課程の特徴

卒業後の社会参加を目指し、自らの可能性を信じ学ぶ意欲を高める関わりや、必要な知識や技能を習得するための教育活動を展開しています。

普通学級では、高等学校と同様の教科学習を行い、基礎的な学力の定着が図られるよう教育課程を編成しています。

重複障がい学級では、生徒の実態に応じ、下学年や知的障がい特別支援学校の各教科、総合的な探究の時間、自立活動、生活単元学習、日常生活の指導等で教育課程を編成しています。

□ 各教科

各教科の目標や内容に基づき、知識や技能、思考力・表現力・判断力等の生徒の資質・能力が育まれるよう指導を行っています。日常生活や他教科等との関連付けを行い、興味や意欲をもって学習できるよう工夫しています。また、普通学級では、学習状況の確認のため定期考査も実施しています。

□ 自立活動

生徒一人一人の実態に応じて、ICT機器などを含む補助具等の使用やコミュニケーション、自己理解など、学習又は生活上の困難を改善・克服し、社会参加に必要な知識・技能、態度や習慣を養う学習を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和3年度～令和7年度実績）

- 国立病院機構北海道医療センターでの継続療養：10名
- 北海道情報大学（進学：在宅）：2名（令和7年度）
- 株式会社スタッフサービス・クラウドワーク（一般就労：在宅）：1名（令和6年度）
- NPO法人 札幌チャレンジド（就労支援A型：在宅）：1名（令和4年度）

学校Webページ

